

# 田和山の森から

## “キンランを楽しむ会” 終了

5月8日(日)キンランを楽しむ会を開催しました。当日は天候に恵まれ、キンランも花盛りで11時からの案内には約40名の参加者がありました。

始めに竹下会長からキンランの特性について説明があり、その後キンランを中心に森の中に生えているいろいろな草花を見て回りました。一週間以上花が咲くキンランを見るため、翌日からも沢山の来訪者があり、森は賑わいました。

キンランの生育状況を調査していましたが見落とししていたものや、新たな場所にも広がり随分多くなっており、最終的に265本を確認しました。

## 「田和山サポートクラブ」役員決まる

去る5月28日(土)田和山館で田和山サポートクラブの総会が開かれ、新年度の計画や予算が審議され、新しい役員が決まりました。これまで会長を務められた堀 暁氏が退任され、共同代表2名が選出されました。新役員は次と通りです。

共同代表 理事：貴谷麻以、 同 理事 吉川洋二、  
副代表 理事：加藤尚子、同 栗間修平、同 知野見睦典  
理 事：今岡 稔、遠藤律子、足立真知子、尾崎浩一、  
山田理沙

監 事：上田雄二

## ・・・ 5月の作業 ・・・

### ・ササユリの保護

尾根筋に上がった所を中心に、ササユリが沢山咲くようになり、その保護作業を行ないました。

### ・植樹苗の下草刈り

森の東側に、15周年事業で植樹したアスナロとヤマモミジがあります。5年余り経ち順調に成長しており、周辺の下草の整備をしました。

この付近には大きいミズブキが群生しており、女性達は刈り取って帰りました。



ササユリの蕾 (5/27写)



ササユリの保護作業



金津さん作製の背負子で運ぶ



成長したアスナロ

## 田和山の樹木第29回 ヤマボウシ

新緑が終わり梅雨入り前に白い花？をつけるのがヤマボウシです。花といいましたが、白く花のように見ると言い換えた方が正しいかもしれません。白い4枚の花びらのように見える部分は花

### ヤマボウシの花 (総苞片)



びらではありません。これは総苞片(そうほうへん)とよばれる葉が変形したもので、真ん中の球形の部分に花が集まっています。総苞片が枯れかけた頃に、小さな花が咲き、秋には赤い実をつけ食べることが出来ます。

田和山のヤマボウシは、自生していたものではなく、2003年に行った植樹祭に植えた木を含めすべて持ち込まれたものです。薬師堂の跡に植えたものは、20年近く経過してかなり大きくなり花は、道路側から見た方がよくわかります。

ハナミズキとよく似ていますが、ヤマボウシが日本原産であるのに対しハナミズキはアメリカ原産です。ヤマボウシは総苞片の先端がとがっていますが、ハナミズキは丸みがあって先端が凹んでいます。また開花時期がヤマボウシが5月下旬～6月であるのに対し、ハナミズキは4月下旬～5月上旬と少し早く咲きます。

(竹下記)

## 今後の活動予定

6月3日(金) 13:30～、10日(金) 13:30～、18日(土) 9:00～、24日(金) 13:30～、

7月1日(金) 13:30～、8日(金) 13:30～、16日(土) 9:00～、22日(金) 13:30～、29日(金) 13:30

